

# VeraSnap

## 「世界初」クレーム防御可能性分析

5つの独立調査による統合レポート

調査日: 2026年1月26日  
調査手法: 5つの独立技術分析のクロスバリデーション  
対象製品: VeraSnap (旧VeriCapture) — iOS Consumer カメラアプリ

### エグゼクティブサマリー

本レポートは、5つの独立調査分析の結果を統合し、VeraSnapの「世界初」クレームを検証する。全5調査が一致した結論:

Claim B (生体認証Human Presence Binding + RFC 3161 TSA) が最も防御可能かつ推奨されるポジショニングである。

| クレームレベル                 | コンセンサス評価     | 信頼度        |
|-------------------------|--------------|------------|
| Claim A (全7機能)          | 限定付きで防御可能    | 高 (5/5)    |
| Claim B (生体認証+RFC 3161) | 極めて防御可能 (推奨) | 非常に高 (5/5) |
| Claim C (ハッシュ+タイムスタンプ)  | 困難 (先行技術あり)  | 高 (5/5)    |

### 主要発見

RFC 3161 TSA外部アンカーとcapture時生体認証 (Face ID/Touch ID) human presence bindingを組み合わせ、オフライン第三者検証を可能にするconsumer iOS appは、公開文書化された先行例が存在しない。

# 重要ギャップ分析

上位競合の分析により一貫したパターンが判明：RFC 31613161  
TSAタイムスタンプとcapture時生体認証bindingの両方を組み合わせたアプリは存在しない。

| 製品           | RFC 3161       | 生体認証        | iOS Consumer | 状態          |
|--------------|----------------|-------------|--------------|-------------|
| CertiPhoto   | あり             | なし          | あり           | 生体認証欠如      |
| Click Camera | なし(Blockchain) | あり(2024-06) | あり           | RFC 3161欠如  |
| Truepic      | 一部             | なし          | なし(B2B SDK)  | Consumer非該当 |
| ProofMode    | オプション          | なし          | あり           | 未統合         |
| VeraSnap     | あり             | あり          | あり           | 完全          |

## Claim B: 極めて防御可能（推奨）

全5調査が全会一致でClaim Bを主要ポジショニングとして推奨。主要差別化ポイント：

| 差別化ポイント        | VeraSnapの優位性                  |
|----------------|-------------------------------|
| 法的基盤           | RFC 3161（法廷証拠能力） vs. ブロックチェーン |
| Human Presence | Capture時Face ID vs. アプリログイン認証 |
| オフライン検証        | 自己完結型TSAトークン vs. ネットワーク依存     |
| プライバシー         | ローカル処理 vs. クラウド/ブロックチェーン同期    |

## 推奨マーケティングステートメント

「VeraSnapは、Secure EnclaveとRFC 3161タイムスタンプを用い、検証されたhuman presenceをメディアキャプチャに暗号的にバインドし、オフライン第三者検証を可能にする、世界初のconsumer iOSアプリです。」

### 戦略的メリット：

- ・ ブロックチェーンベースの競合（Click、Capture Cam）との明確な差別化
- ・ 非RFC 3161ソリューションに対する法的基盤の優位性
- ・ タイムスタンプアプリの中でユニークなhuman presence検証
- ・ サーバー依存ソリューションに対するオフライン検証能力

## 主要脅威分析

| 競合                      | 脅威レベル        | VeraSnapとの主要差         |
|-------------------------|--------------|-----------------------|
| CertiPhoto (2016年～)     | Claim Cに対して高 | 生体認証binding欠如         |
| Click Camera (2024-06～) | 中            | Blockchain、RFC 3161なし |
| Truepic                 | 中～高          | B2B SDK特化、Consumer非該当 |
| ProofMode               | 中            | ツールキット、未統合            |

## 結論

5つの独立調査研究の包括的クロスバリデーションに基づき、VeraSnapの「世界初」クレームはClaim Bレベルで防御可能である。RFC 3161 TSA外部アンカーとcapture時生体認証human presence bindingを組み合わせた先行consumer iOS appは存在しない。

推奨: Claim Bを主要ポジショニングとして採用。VeraSnapは、法的グレードのタイムスタンプ (RFC 3161) とhuman presence検証 (Face ID/Touch ID) をプライバシー保護ローカルアーキテクチャで組み合わせた、ユニークなポジションを占める。

本分析は2026年1月26日時点の公開情報に基づく。発見事項はクロスバリデーションされた最善努力の調査結果を示し、法的助言を構成しない。